

第1回かごしま都市マスタープラン策定協議会の会議記録【概要】

会議の名称	第1回かごしま都市マスタープラン策定協議会
開催日時	平成31年3月18日(月) 13時30分～15時20分
開催場所	鹿児島市役所 東別館9階 特別中会議室
出席者 (委員) (事務局)	委員26名(うち2名代理出席)、欠席0名、事務局 石塚会長、内田会長代理、馬場委員、小山委員、志賀委員、中村委員、西委員、岩崎委員、檜林委員、川畑委員、福永委員、亀井委員、緒方委員、矢上委員、塩川委員、永山委員、武藤委員、古川委員(代理)、甲斐委員(代理)、井多原委員、松山委員、江口委員、原村委員、福岡委員、古市委員、宮之原委員 坂元建設局長、福留都市計画部長、柚木都市計画部参事(都市計画課長)、山中都市計画課主幹、その他都市計画課職員
傍聴者数	2名(報道関係者1名、随行者1名)
事務局	鹿児島市 建設局 都市計画部 都市計画課
会次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 委員紹介 4 会長及び会長代理選出 5 議事 (1)かごしま都市マスタープラン策定協議会の運営 (2)かごしま都市マスタープランの趣旨と位置付け (3)本市の現況と都市づくりの課題 ① 市民意識調査結果 ② 本市の特性と他都市との比較による本市の特徴 ③ 現行都市マスタープランでの課題に対する取組状況 (4)策定までのフロー(案) 6 その他 7 閉会
主な意見等	○ 本市の人口は減少し、求められるまちづくりが根本的に変わってきていることから、地方都市においてどのように持続可能性を確保していくかが課題。 ○ 人口減少に伴い、国の財源も限られ、補助金で公共事業をすればよいという時代ではなくなっており、本市の経済力をどう強くするかという視点が必要。 ○ 県内では、鹿児島市に商業が集積しているが、小売販売額自体は減ってきているので、今後、その点を考慮して計画を進めていただきたい。 ○ 計画期間が20年間というのは長いように感じる。10年で見直すなどの方針を盛り込んでどうか。 ○ 市民意識調査で、「子育てのしやすさ」などの満足度が低下しているので、「子育て」という視点を課題に盛り込むべきではないか。